

竹田市立 竹田小学校

校長 (安東 紀代美)

(1学期計画)

【学校の教育目標】			豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる子どもの育成					
【育成を目指す資質・能力】			主体的に取り組む力		自己表現力		相手意識	
重点 目標	担 当	達成指標	分 担	重点的取組	取組指標 (誰が・何を・どのくらいの頻度で)	学習指導要領 が目指す 資質・能力 との関連		
						知識・ 技能	意思・ 考 表 現・ 力 判 断	学 び に 関 心 を も つ
基礎的・基本的な学力の定着	学 び P T (教務主任)	(子どもの姿) ・「自分の考えをわかりやすく伝えることができた」「話を聞いて相手の考えや思いを受け止めることができた」と答える児童を80%以上にする。 ・「自分の苦手・得意分野がわかり、改善・伸ばしようと取り組んでいる」と答える児童を75%以上にする。 ・単元テスト「知識・技能」の項目B評価(70点以上)「思考・判断・表現」の項目B評価(70点以上)の児童を80%以上にする。 (R6:未達成)	学 校	子どもの主体性を支える授業力向上のための実践	授業者は、教務主任を中心に児童が主体的となる話し合い活動を行い、実践例を校内研修で共有する		○	○
				自己調整力を育成する家庭学習の工夫	学級担任は、教務主任を中心に週1回以上、自己調整力を育成するねらいをもった家庭学習指導の実践を行う。 (漢字、自主学習、算数カルテ等)	○		○
				認知機能向上を図るコグトレ、ビジョントレーニングの実践	教職員は、週1回以上、継続的にコグトレ、ビジョントレーニングの実践を行う。	○		○
			家 庭	家庭での子どもからの発信の場の設定と自主学習の支援	保護者は毎日勉強の話(低)や自学の取組(高)への支援を行う	○		○
			地 域	ゲストティーチャー等の学習活動支援	地域は月1回の読み聞かせや地域学習、音楽祭等で地域人材として参加する。			○
豊かな心の育成	豊かな心 P T (研究主任)	・「よりよい生活を送るために自分からすすんで行動した(挨拶や返事等)」と答える児童を80%以上にする ・「自分や友だちを大切に行動できた」と答える児童を80%以上にする	学 校	協働性を育てるための実践	児童会担当を中心として、全教職員は、月ごとにねらい(互いがつながる)を児童に設定させ集団生活向上に関する支援を行う。			○
				人権意識の涵養を目指した実践	研究主任を中心として、授業者は、「考え話し合うことで、共感・認め合い・深め合いのある学習活動」を設定する。		○	○
				伝え合い、認め合いの場の設定	児童会担当を中心として、担当者は、児童会活動を通しての伝え合い・認め合いの手立てを検討し、集会などの場で設定する。		○	○
			家 庭	生活習慣の改善見守りとあいさつの推進	保護者は「のびゆく竹小」について学期に一度の重点期間の設定と振り返りを行う。	○		○
			地 域	見守りとあいさつの推進	自治会長会、民生委員、PTA(全家庭)が週1回ずつ安全パトロールと挨拶運動を実施する。			○
			学 校					
			家 庭					
			地 域					